

四賀ガルテナーの楽しみ

# ガルテンを何してん!?

## 信州で得た季節の暮らし 心交わす豊かな時間

緑ヶ丘ラインガルテン 103号

夏目 正人さん

名古屋市から四賀に通って11年目の夏目正人さん(67)は、年間200日以上を緑ヶ丘のラインガルテンで過ごしています。生活様式が違う幅広い年齢層の人たちと、交流を楽し

む夏目さん。「地元のお祭りや公民館での講習会に参加したり、週末にはガルテナー同士で郷土料理を持ち寄りたりすることもあります」と楽しそつに話します。「名古屋で自分の時間の

過ごし方といえば、スーパーや本屋などに出かけるのですが、自分から何かをする場所ではないし、近くに住む人ともなかなか知り合えない。でも、ここではすることが際限なくあるし、疲れたら休めばいい。畑に出ていると地域の人が声をかけてくれたり、車ですれ違う時には手をあげてくれたりして、都会にはない心と交流がうれしいです」と夏目さん。

「野菜作りと料理を覚えようと応募しました。ここを選んだのは、20代のころに暮らした松本のイメージが、心安らぐところだったからです」。本棚には県内の情報誌と、野菜作りや料理の本がズラリと並んでいます。

ガルテナーになる数年前から東筑摩郡朝日村でソバ栽培とそば打ちに取り組んでいるというほど、そば打ちが本格的。食事前のテールクロスの下はなんと、そば打ち台です。「ガルテナー仲間と収穫したソバを、私がこの台で打つんですよ。ここ何年かは、年越しそばもここで打って、名古屋の家族や友人に届けるのが私の仕事になっていきます」。

野菜作りも地元の農家やガルテ



ナー仲間のアドバイスを受けながら、存分に楽しんでいる夏目さん。畑にはタマネギやジャガイモなど幾種類もの野菜が育ち、トウモロコシは段階的に3回収穫する計画だそうです。「ここで採れるトマトの味は最高で、名古屋の家族や友人たちにも好評です」。ソースに適した品種、まだら模様の珍しいものなど10品種以上を育てています。

妻の和子さん(62)が訪れるのは年に3、4回。夏目さんが自宅を出る時は、車の運転と体調管理を心配しながら送り出してくれるとか。「時折、自分が作った料理の写真をメールで送ると、栄養のバランスを気にかける返信が届きます。我家の場合、夫婦一緒に家に居るより、しばしば離れて暮らす方がお互いを思いやれるような気がします」とほほ笑む夏目さんです。